

**令和7年度第2回亀岡市地域公共交通会議(令和7年7月22日開催)
議事要旨**

報告 (1) ふるさとバス、コミュニティバスの運行状況等について
議事 (1) 亀岡地区コミュニティバスの試験運行の継続について

報告 (1)ふるさとバス、コミュニティバスの運行状況等について

会 長	ふるさとバス、コミュニティバスともに令和5年度に比べて、令和6年度は利用者数が増加したが、要因は何か。また、経常費用が増加した要因は何か。
事 務 局	令和6年度は利用者数が増加したが、ふるさとバス、亀岡地区コミュニティバスはコロナ前の令和元年度に比べると、減少している。コロナ禍で減少した利用者が徐々に戻ってきたということかと考えている。経常費用の増加については、人件費や燃料費の上昇などが要因である。
会 長	できればコロナ前の利用者数についても、資料に載せていただきたい。なお、収支率が約19.8%と説明があったが、コミュニティバスは赤字を前提に運賃を抑えて運行しており、ガソリン代や人件費が増加したからとあって、簡単に運賃を上げられないため、このような収支率になっているということを補足しておく。
委 員 (利用者の代表)	地域主体型交通の経費について、講習料とはどのような内容であるか。また、旭サポートカー委員会だけでなく、市内で10団体が移動支援に取り組まれているので、門戸を広げて講習を開催する予定はないか。
事 務 局	旭サポートカー委員会の講習料の内容は、講師派遣料とテキスト代である。現在のところ旭町サポートカー委員会のみが独自の取組として実施されているが、他の団体が実施された場合も、補助金の対象にはなると考えている。また、市の補助金を受けずに移動支援に取り組んでおられる団体もあるので、そういった団体も対象とした講習についても、今後検討していく。

議事 (1)亀岡地区コミュニティバスの試験運行の継続について

会 長	試験運行が6月末までとなっているが、現在は運行しているのか。
事 務 局	7月以降も運行している。
会 長	7月に入り、気温が上がって暑くなったが、利用者の状況はどうか。
委 員 (京阪京都交通)	今月に入ってから利用は少し増加し、1日7人程度となっている。月初にはノーマイカーdayによる利用が多かったことも影響している。
会 長	試験運行の利用が10人に満たなければ次はないという、危機感を共有する必要がある。アンケートはいつ実施するのか。
事 務 局	住民アンケートについてはできるだけ早く準備し、8月中旬の自治会配布に合わせて実施したいと考えている。利用者への乗込調査についても、特別な変動のない日を選び、早期に実施したい。
会 長	乗込調査については、極端に利用の多い日、少ない日はデータに偏りが出るので、平均的な利用の日を選んで実施してほしい。
委 員 (京阪京都交通)	3月15日から試験運行を開始して約4カ月が経ち、運転士に聞き取りを行ったところ、次のような意見があった。 ・市道中矢田篠線から右折する際、団地内から出てくる車がカーブミラーでも確認しづらく、危険である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・霧二公園前から右折して美山台一丁目に向かう道路が急こう配で、上り坂はローギアでかなりアクセルを踏み込む必要があり、また頂上付近では先が見えにくいいため、下りに差し掛かったところで対向車や駐車車両があった場合、急ブレーキをかけることになり、立っている乗客の転倒も懸念される。特に秋の紅葉シーズンは、外国人も含めて鍬山神社での乗車が非常に多く、美山台地区を満員の状態で運行することに対する安全性も心配される。 ・冬季は路面の凍結が心配され、特に下り坂の部分は北西向きで日当たりも悪く、運行時刻でも凍結している可能性があり、危険である。 <p>今述べたように、立ち席のある路線バスが運行することは、安全の確保が困難であるため、本格運行の判断基準に、利用人数だけでなく安全性の確保を加えていただき、3か月後にその点も確認をさせていただきたい。</p>
会 長	ただいまの意見については、道路管理者や公安委員会に相談して、カーブミラーや路面標示など、安全性の確保について対策を講じていただく必要があるかもしれない。
委 員 (亀 岡 警 察 署)	一度現地を確認させていただく。
委 員 (まちづくり推進部長)	経路が変わり、交差点をバスが通行するということが知られていないかもしれない。道路管理者として、路面標示など必要な対策を検討する。
委 員 (利用者の代表)	美山台2丁目の住民から移動手段について相談を受けたことがあるが、これまでに美山台2丁目からの要望はなかったのか。
事 務 局	美山台2丁目からの要望はなく、西つつじヶ丘自治会との協議で経路を決めたが、自治会では、現在の経路で美山台2丁目の方も利用可能性があると認識されている。
委 員 (地域住民の代表)	平日より土日祝日の方が利用が多いが、通勤による利用は少ないのか。
事 務 局	当地域内は高齢者が多く、始発便の時間も遅いので、通勤での利用はあまりない。
委 員 (京 都 運 輸 支 局)	亀岡地区コミュニティバスは何台のバスで運行しているのか。
事 務 局	1台で運行している。
委 員 (京 都 運 輸 支 局)	運転士は1人なのか。
委 員 (京 阪 京 都 交 通)	運転士は途中で交代している。
会 長	本議題については承認されたものとし、試験運行期間を延長し、その間に様々な調査を行い、十分な利用者が見込めるか、また安全に運行できるかを確認していくことにさせていただきます。
その他	
特になし	

以 上